

「チカラがつく」

Point  
1

## 現場を体感しながら、専門性を養う。

### 専門の資格を持つ教員が社会・時代に沿った学びを展開

臨床心理学科には、心理専門職が活躍する主要5分野とされる「保健医療」「教育」「福祉」「産業・労働」「司法・犯罪」を中心に、実際に公認心理師や臨床心理士として、さまざまな分野で活躍している教員が在籍しています。そのため、講義や演習をとおして多角的に臨床心理学の知識を深く学ぶことができます。

#### 1 悩みと向き合う「医療・福祉」

精神的な悩みを持つ人の心を考えます。心理支援の資格の取得で、病院のカウンセラー等、職業の選択肢が広がります。

学びのキーワード | #精神医学 #福祉臨床 #医療心理学

#### 2 生徒や先生の心と向き合う「学校臨床」

生徒同士、生徒と先生を対象に、スクールカウンセラーとして、学校内で起こる問題への対応力を養います。

学びのキーワード | #子どもの心理 #スクールカウンセリング #学校心理学

#### 3 心の発達を理解する「発達臨床」

子どもから高齢者までを対象に、成長に伴う心身の変化や、発達面での障がいのある人の心に向き合います。

学びのキーワード | #心の発達 #発達障がい #生涯発達心理

#### 4 社会で働く心を支える「産業臨床」

多くの企業がカウンセラーを常駐させる近年、社員の方等が、心身ともに健康に働くことを考える領域です。

学びのキーワード | #産業カウンセリング #ストレスコーピング #キャリア形成支援

#### 5 被害者の心をケアする「危機支援」

犯罪被害や台風・地震等の被害を受けた人の心のケアを、相手の立場になって考えます。

学びのキーワード | #犯罪被害のケア #被災者支援 #いじめ #虐待

教員による「実際の現場での経験」に基づく講義を、担当分野ごとに幅広く展開。本学科での学びは、心理職をめざす人には心理支援の知識や実践につながり、そうでない人にも日常で生かせるメンタルケアや、自分や他者の心の理解に生かすことができます。

「チカラがつく」

Point  
2

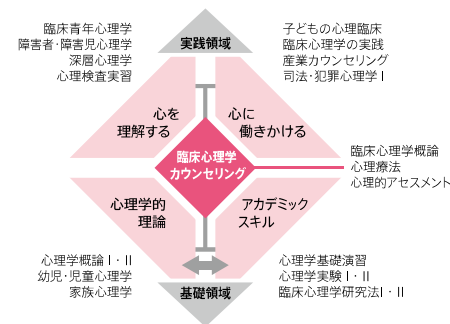
## 基礎から実践まで、しっかり学べるカリキュラム。

### 心理学の基礎からしっかり学ぶ

1、2年次には論文の読み方や、データの分析方法を学ぶことで心理学の基礎的な研究スキルを修得します。3、4年次にはゼミナールに所属し、教員の指導の下で自ら設定したテーマの研究に取り組みます。教員の専門領域は幅広く、自分が関心を持ったテーマをより深く探究することができます。

### 公認心理師カリキュラムに対応 また、幅広く展開される授業は、資格取得に限らず多様な進路に対応しています

基礎だけでなく、対人支援の実践に関わる知識を幅広く学べるカリキュラムを展開していることも臨床心理学科の特徴です。本学の大学院臨床心理学専攻では公認心理師、臨床心理士の資格取得をめざすことができます。また、カウンセラー志望だけでなく、民間企業での心理学活用等、学生一人ひとりの目標に合わせて学べる多様な授業をそろえています。



### カリキュラム

卒業基準単位数: 124 教養的科目: 24 専門科目: 100

※2023年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	臨床心理学の基礎を身につける 心理学全般の基礎的な分野を幅広く学び、心理学の概念を理解して学びの方向性を固めます。	実践的な手法と研究方法を修得 人を支援する際の実践的な手法を学修。さらに心理学の研究を実践的に深める技術も修得します。	選択した専門分野の研究・発表を行う 研究分野を選択し、少人数で「演習」を実施。自らテーマを考え、討議し、発表する経験を積みます。	さらに深く追究し、論文・研究をまとめる 心理学を社会で生かす力を養う学びの集大成として、卒業論文・卒業研究に取り組みます。
必修科目	心理学概論 I・II 心理学基礎演習 臨床心理学概論	キャリアとライフ 心理療法 心理学的支援法 心理的アセスメント	臨床心理学演習 I・II 心理学研究法 I・II	卒業論文・卒業研究 I・II
選択必修科目	心理学統計法 I・II	心理学実験 I・II 心理学情報処理 I・II 精神疾患とその治療 精神医学	臨床心理学研究法 I・II	
選択科目	知覚・認知心理学 社会・集団・家族心理学 認知科学 社会心理学 青年期の心理学 学習・言語心理学 幼児・児童心理学 教育・学校心理学 I 発達心理学 適応の心理 公認心理師の職務 感情・人格心理学 聴覚・視覚心理学 サービズ・ラーニング	心理学史 神経・生理心理学 感性心理学 家族心理学 対人・社会心理学 行動分析 コミュニケーション心理学 グループ・ダイナミクス論 比較文化論 産業・組織心理学 人体の構造と機能及び疾病 心理学測定法 I・II 健康・医療心理学 I・II 障害者・障害児心理学 精神薬理学 発達障害児・者心理学 人間性心理学 臨床青年心理学 司法・犯罪心理学 I・II 深層心理学 教育・学校心理学 II 福祉心理学 異文化カウンセリング 子どもの心理臨床 産業カウンセリング 被害者支援の心理学 キャリア・カウンセリング ピア・サポート 行動と心理臨床	英語原書講義 I・II 関係行政論 心理検査実習 臨床心理学の実践 心理演習	心理学演習

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

「チカラがつく」  
Point 3

現場で生かせる実践力を、体験型の授業で育む。

✓ 「心をつめる力」を養う

「心をつめる力」とは、心の問題やその背景について理解する力です。支援対象者はどのような人物なのか、抱える問題の背景にはどのようなことがあるのか、それらを理解するための方法を修得します。適切な理解のためには、得られた情報を適切に解釈することが必要です。「心理検査実習」では、実際に授業内で検査を実施し、結果を解釈するといった体験をとおして、人の心や、抱える問題の背景を理解するための力を身につけていきます。



✓ 「支える力」を身につける

「支える力」とは、傾聴のスキルや姿勢のことを指します。相手が安心して話ができるように聴くということは、案外難しいことです。また、どうすればいいかを頭ではわかっていても、なかなか実践することはできません。「臨床心理学の実践」「ピア・サポート」の授業では、相手が安心して話せるために、どのように聴くことができれば良いのか、学生同士のグループワーク等を通じて学んでいきます。



VOICE  
学生インタビュー

悩みを持つ人が、  
支援を受けやすい世の中にしていきたい。

小学生の頃からカウンセラーという職業、心理学という学びに興味を持っていたのですが、実際にどのような人や場面に出くわすのか、その時どのような支援ができるのか、イメージできずいていました。立正大学の5分野を満遍なく学修できる環境なら、どの分野で働くことになっても、より多くの人の不安や悩みに寄り添えると思い進学を決意。実際に体験できる心理検査の数も、立正大学は非常に多いため、友人や家族を対象に、時には自分自身が被検対象となり、あらゆるケースを想定した経験を積むことができました。会話をする時はうなずく回数を増やす、姿勢を良くする、そういった些細な行動も相手の安心につながることを学び、多くの知識や技術を吸収できたと思います。熱があれば医者にかかるように、心に不調があればすぐにカウンセラーを頼ってもらえる。そんな、心理職という仕事をもっと身近な存在になる将来をめざして、これからより広く、より深く、学びたいと思います。

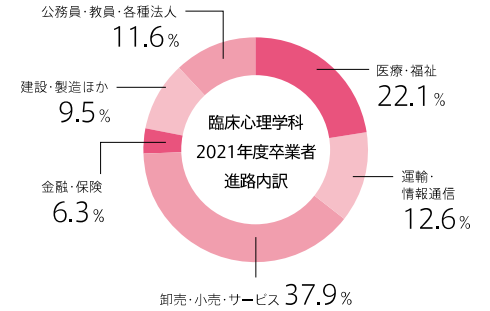
心理学部 臨床心理学科 東京都立堀東高等学校出身

臨床心理学科独自の就職サポート

臨床心理学科では、大学生活と卒業後も視野に入れ、自らの「キャリア」を探索する必修授業「キャリアとライフ」が2年次に用意されています。また心理学部全体のサポートとして、就職希望者向けの「就職ガイダンス」や、進学希望者向けの「進学ガイダンス」を毎年開催。先輩から、具体的な体験談やアドバイスを聞くことができます。

✓ 「キャリアとライフ」授業内容

授業の目標は「自分の糧になっているこれまでの経験」を振り返りながら自己理解を深め、「他者や社会における自分」という視点から自分自身のキャリアとライフを考えることです。そのためには理論や情報をインプットするだけでは不十分。授業をとおして一人ひとりが自らのキャリアとライフを考え、意味づける機会となるよう、講義とグループワークで展開されます。



卒業論文テーマ

- 大学生におけるSNSを介したインターネット上の心理的居場所が学校適応に与える影響について
- S-HTP法による児童の描画特徴と放課後児童指導員による他者評価との関連
- 児童の教師に対する信頼感が援助要請行動に及ぼす影響
- 再犯者の傾向と社会復帰支援
- 吃音・者の自己認知と支援者の在り方に関する検討
- 抑うつ傾向が自伝的記憶に及ぼす影響
- 軽度発達障害児の母親が抱える心理的負担と支援の現状
- いじめられた経験が自己肯定及び保護者心理におよぼす影響について
- 大学生における自閉症スペクトラム傾向と不安感の関係
- 統合失調症患者家族の心理と家族心理教育に関する検討
- 動的家族画の描画特徴と家族満足感及び精神的自立との関連
- ジェンダー・アイデンティティが自己受容および主観的幸福感に及ぼす影響
- 児童虐待の発生要因と治療的介入の検討
- DV被害の実態とDV目撃による子どもへの影響 ほか

免許・資格

- | 【心理関係】   | 【教員免許】   | 【その他】   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公認心理師<sup>※1</sup></li> <li>■ 臨床心理士(大学院資格)<sup>※2</sup></li> <li>■ 認定心理士(認定資格)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中学校教諭一種免許状(社会)</li> <li>■ 高等学校教諭一種免許状(公民)</li> <li>■ 学校図書館司書教諭</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 図書館司書</li> <li>■ 博物館学芸員(任用資格)</li> <li>■ 社会教育主事(任用資格)</li> <li>■ 社会福祉主事(任用資格)</li> <li>■ 児童指導員(任用資格)</li> <li>■ 児童福祉司(任用資格)</li> </ul> |

詳しくはP.16~P.18へ

進路・将来像

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公認心理師・臨床心理士(スクールカウンセラー、医療機関勤務等、大学院修了後、試験を受験し、資格を取得)</li> <li>■ 家庭裁判所調査官</li> <li>■ 法務(心理)技官</li> <li>■ 法務教官</li> <li>■ 国家公務員(総合職人間科学)</li> <li>■ 地方公務員(心理職、心理判定員等)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 警察関係の公務員(警視庁心理職、県警少年警察補導員等)</li> <li>■ 民間企業全般(人材派遣業、社会福祉サービス業等)</li> <li>■ 大学院進学(臨床心理学関連の研究職)</li> <li>■ 専門職員養成施設進学(児童自立支援専門員養成所等)</li> <li>■ 中学校社会科教諭</li> <li>■ 高等学校公民科教諭 等</li> </ul> |
|--|---|

詳しくはP.34へ